

第5学年 総合的な学習の時間 単元計画

1 単元名 「流氷とともに歩む紋別市」(地域)

2 単元の見込み

- (1) 自分の疑問や探究意欲に応じて課題を選択し、主体的に調べたり、進んで考えたりし、「流氷と紋別市との関係」についての自分の考えをもつことができる。
- (2) 探究活動を通して、情報の収集方法や他者意識に基づいたまとめ方、表現方法を身に付ける。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①流氷のもたらす恵みや紋別市のまちづくりとの関係性、紋別市の流氷が減少している理由について理解できる。 ②見通しをもち、情報を収集したり、活用したりできる。	①必要な情報を選択し、整理することができる。 ②他者意識を基にし、流氷と紋別市の関わりについてまとめた内容を適切に表現することができる。	①流氷と紋別市との関わりについて知ること、自分なりの疑問や自らの課題をもつことができる。 ②自分の疑問や課題解決のために、主体的に調べたり、まとめたりすることができる。

4 単元の展開 (全30時間)

過程	時間	単位時間の目標	○主な学習活動	■評価規準 □評価方法
課題の設定	3	○自分の生活経験や地域の実態等を結び付け、課題を設定することができる。	○流氷について知っていることを交流する。 ○自らの課題を設定する。	■ウ① □ノートまたはワークシート、発言
情報の収集	15	○課題解決への見通しをもち、必要な情報を集めることができる。 ○流氷の減少についての原因や解決策、紋別市に与える影響について考えることができる。	○紋別市と流氷の関係(恵みと被害、まつりなど)について、必要な情報を集める。 ○ポートウォッチング(7月) ○情報交流を行い、新たな課題(流氷が減少している原因や紋別市に与える影響についてなど)について、必要な情報を集める。 ○流氷シンポジウム(2月)	■ア② □ワークシート、質問内容、計画書など ■ウ② □ワークシート ■イ① □ワークシート、交流の様子
整理・分析	7	○自分の課題に対して調べたことについて、伝える相手を基に提示する資料や発信方法を選択し、まとめることができる。	○自分自身のテーマに沿って、調べた内容を整理する。 ○調べたことをだれに向けて発信していくかを検討し、提示する資料を作成する。	■イ① ■ウ② □発表用資料
まとめ・表現	5	○自分の課題の発表や、他者の発表を通して学習を振り返り、次年度の学習へ繋げることができる。	○それぞれの課題について、まとめたことをポスターセッション等で発表する。 ○学習を振り返る。	■イ② □発表内容 ■ウ① □発表の感想、振り返り

5 備考(関連機関等)

- ・北海道立オホーツク流氷科学センター 紋別市元紋別11番6号 (0158-23-5400)
- ・紋別観光振興公社観光事業課 紋別市幸町5丁目24-1 紋別バスターミナル1F (0158-24-3900)
- ・市長政策室(地方創生・避暑地化・交流担当) (0158-24-2111) 内線: 409番